

人とつながる 豊かな心を育む 未来にひろがる はむらの学び



はむらの 教育



市内中学校の1年生は、毎年スキー教室を行っています。
大自然の環境を体感しながらスキーの技能を習得するほか、宿泊体験を通して責任感や協調性、自律の精神を養いながら友情を深め、楽しい思い出を作ることを目的としています。
羽村第一中学校では、1月21日(水)から1月22日(木)にかけて、ふじてんスノーリゾートでスキー教室を実施しました。

特集

P2~3 スポーツ推進課
「羽村市のスポーツを支える！
スポーツ推進委員を紹介します」



◀市公式サイト



特集

スポーツ実施率70%に向けて
羽村市のスポーツを支える！
スポーツ推進委員を紹介します



▲スポーツ推進委員協議会について
(市公式サイト)

第2期羽村市スポーツ推進計画では、令和8年度までに市民が週1回以上スポーツを実施した割合70%を目標としています。
目標を達成するため、羽村市のスポーツを支えているスポーツ推進委員の活動を紹介します。

スポーツ推進委員とは？

年齢や性別、障害の有無にかかわらず、手軽にスポーツ活動に参加できるようにするためのコーディネーターです。

市主催事業への協力や、スポーツを通じた地域住民の健康づくりの推進を目的としたスポーツ推進委員主催事業、ボッチャを始めとした障害者スポーツの推進事業などを計画、実施しています。

スポーツ推進委員協議会 関連事業



四季のウォーク
四季折々の季節を感じ、コース上の自然や史跡を楽しみながらウォーキングやポールウォーキングを行います。
次回は、3月22日(日)に調布市で実施します。
(地域振興部 担当)



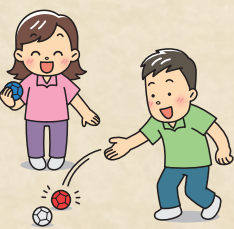
フィールドゴルフ大会
フィールドゴルフは、羽村市スポーツ推進委員協議会が考案したニュースポーツです。毎年春と秋に大会を開き、合わせて初心者講習会も開催しています。初めての方も気軽に参加できます。
次回は、5月23日(土)にS&Dスポーツパーク富士見で実施予定です。
(事業部 担当)



ボッチャはむら大会
パラリンピック競技種目の「ボッチャ」の大会では、審判を担当しています。年々ハイレベルになる大会で、より適切な判断を下せるように、大会前には審判研修会を開催しました。



はむら市スポーツ推進委員だより
スポーツ推進委員の活動について紹介し、年2回から3回発行しています。公共施設での配布や町内会・自治会の回覧で見ることが出来ます。
(広報部 担当)



スポーツ推進委員派遣事業

～イベント実施以外には、指導員派遣も行っています～

Q. 派遣事業の内容を教えてください

A. 町内会・自治会主催のイベント等にボッチャ、ラダーゲッター、フィールドゴルフ、モルックの競技方法の説明やイベント実施のサポートを行っています。

11月に実施された「小作台東町内会ミニ運動会」では、4人の指導員を派遣し、60人がモルックやフィールドゴルフの体験を行いました。

Q. 依頼方法を教えてください

A. 実施希望日の2か月前までに、スポーツ推進課へ問い合わせてください。

具体的な内容や派遣する指導員の人数などは、相談の上、決定します。



先輩委員にインタビュー！

普段の活動内容

「四季のウォーク」を主に担当する、地域振興部に所属しています。四季のウォークでは場所、詳細なコース、休憩場所を立案し、実際にそのコースを歩いてみて、不安点があれば抽出し、その改善策を立てます。参加者が安全に、また喜んでいただけるような計画を実行します。



「四季のウォーク」で参加者の案内もします。▶

今回は、地域で活躍する現役の2年目スポーツ推進委員に活動についてインタビューしました。

やりがいや魅力

行事に参加された方の笑顔がとてうれしいです。私たち委員の判断で事業内容を変更することも可能なので、自分たちの意見が詰まった企画を立案、実行できます。

これから委員になる方にひとこと

スポーツ推進委員は、スポーツが得意である必要はありません。大切なことは、スポーツの楽しさに興味をもつことです。

委員同士のチームワークは良好で、2年目で人見知りの私でも仲間がフォローしてくれるので、プレッシャーなく活動できています。安心して新しいスポーツを楽しみながら覚えていきましょう。

スポーツ推進委員、募集中！

現在、羽村市ではスポーツ推進委員を募集しています。一緒にスポーツの楽しさを広めていく活動をしましょう！

【待遇】報酬の支給や、ポロシャツなどの被服を貸与します。
※詳しくは、問い合わせてください。



【特集についての問合せ】 スポーツ推進課 ☎ 555-0033

▲募集について
(市公式サイト)

中学生の職場体験学習 御協力ありがとうございました

市内の中学校では、毎年、全ての2年生の生徒が5日間、特別支援学級の生徒が2～3日間の職場体験学習を行っています。

実施に当たっては、市内の多くの企業、事業所、団体等の皆様に御協力をいただき、ありがとうございました。体験終了後には、生徒たちの積極的な姿勢や、お客様に寄り添った対応などにお褒めの言葉もいただきました。

今後も、羽村の子供たちが、自らの未来を切り開き、自分らしい生き方を築いていく力を身に付けられるよう、御協力をお願いします。

【受入れ先から頂いた声】

- 当初は緊張していたと思いますが、だんだんと慣れていき、お客様に対しても積極的に関わっていくことができていました。また、作業も説明するとすぐに理解でき、創意工夫しながら取り組む姿がありました。この職場体験を生かして、学校生活や将来に対しても前向きに取り組んでくれたらと思います。
- 職場体験学習は、生徒が社会の一員として働く意義を実感できる貴重な機会だと思います。実際の業務を通して働くことの楽しさや大変さ、そして相手のために行動することの大切さを感じ取ってくれたら、うれしいです。
- どんな地道なつまらない作業も、苦手な接客業も、楽しい気持ちでやってもらえるように、自分たち自身も心掛けています。生徒さんたちがそういう思いで経験していただければ幸いです。そして、経験した喜びや失敗の一つ一つを、これから社会に出てお仕事をされる生徒さんたちのお役に立てていただくことが、私どもの願いです。

【問合せ】 学校教育課指導係(内線376)

中学校部活動の活躍を お知らせします！

今年度、中学校の部活動において、優秀な成績を収めた主なものを紹介します。

●羽村第二中学校

〈ソフトテニス部〉

- ・東京都中学校ソフトテニス選手権
男子団体：第3位、女子団体：第4位
女子個人：関東大会代表入り

→男女団体、女子個人

関東中学校ソフトテニス大会出場！

〈吹奏楽部〉

- ・東京都中学生吹奏楽コンクール 銀賞
- ・東京都中学生アンサンブルコンテスト 銀賞

●羽村第三中学校

〈吹奏楽部〉

- ・東京都中学生吹奏楽コンクール B組金賞
- ・東京都中学生アンサンブルコンテスト 銀賞

羽村市では、中学校の部活動を地域の活動へと移行・展開する取組を行っています。移行した団体は、地域クラブ活動団体「TEAM はむら」として、教育委員会が認証し、支援しています。

「TEAM はむら」の活躍は、羽村市公式サイト「羽村市部活動地域展開通信 Let's TEAM はむら」を御覧ください。



「TEAM はむら」について
(公式サイト)▶

【問合せ】 学校教育課指導係(内線376)

の取組について

羽村西小学校

定しています。指定を受けた学校は、児童・生徒の学力向上を目指し、授業改善等に向けた研究

研究の内容や成果を羽村市全体に広めています。

り組んでいます。ここでは、今年度研究発表を行った羽村西小学校の研究内容を御紹介します。

4. 研究の内容

研究では、国語・社会・算数・理科の4教科を中心に、自由進度学習を取り入れながら、「自ら学びを調整し、主体的に学習に取り組む児童」の育成に取り組ましました。ここでは、5年生の社会の事例を紹介します。

5年生 社会 単元名「自動車をつくる工場」（10時間扱い）

1次	「つかむ」 一斉学習 2時間	「自動車をつくる工場」について、児童一人一人の疑問や気付きなど「問い」を基にした学習問題を設定します。その追究・解決に向け、「組み立て工場」、「関連工場」、「輸送」の三つのテーマを設定し、調べ学習の方向性を共有します。
2次	「調べる」 自由進度学習 6時間	三つのテーマの中から、自分の興味・関心のあるテーマの一つを選び、活用する資料や調べ方などを自分たちで考え、6時間の中でどのように進めていくかを工夫しながら、調べ学習に取り組めます。調べたことをまとめ、学級内で発表することを踏まえ、まとめ方や発表の仕方についても、自分で考えて工夫します。
3次	「まとめる」 一斉学習 2時間	新聞形式やリーフレットに整理したり、1人1台端末のプレゼンテーションソフトを活用したりして、それぞれが調べ学習の成果をまとめ、学級内で発表します。他の児童の発表から学んだことを整理しながら、学級全体で学習を深めます。

《自由進度学習のポイント》

- ◆自由進度学習の時間は、児童が自ら学習を進められるよう、教師は一人一人の学習状況を把握し、個別に支援するなど「伴走者」として寄り添います。
- ◆同じテーマごとにグループをつくり、児童同士で交流しながら互いに学習を深められるよう工夫します。
- ◆学習の目標(調べたことを基に考えをまとめる)や単元の終末(工夫して発表する)を常に意識させることで、ゴールを目指して学習を進める意欲の向上を図ります。

5. 研究の成果

社会の調べ学習において、自由進度学習を取り入れたことで、教科書の内容を踏まえながら、探究テーマや学習方法、資料等を自分で決定し、より一層、理解を深めることができました。

他の教科でも、次のように「育ってほしい児童の姿」に近付いていく児童の様子が見られました。

国語	一人一人の児童が、個人やグループ等の学習形態を選択したり、登場人物や文章構成等について興味のある問いを選択したりしながら文章を読み深めていき、自分の考えを形成することができた。
算数	主体的に問題を発展させて取り組めたことで、内容理解がより深まった。また、学び方を選択したことで、算数が苦手な児童を含めた多くの児童が意欲的に学習に取り組むことができた。

2年間の研究を通して、「自ら課題を設定し、学習方法を決め、粘り強く学習に取り組む児童の育成」の実現に向けた一定の成果を上げることができました。研究を始める前と比べ、進んで生き生きと学習に取り組んでいる児童が増えてきたと、羽村西小の教職員も実感しています。

羽村西小の研究成果を生かし、市内全ての児童・生徒が自らの学びを調整し、主体的に学習に取り組めるよう、教育委員会も支援を続けていきます。

【問合せ】 学校教育課指導係(内線376)

羽村市教育委員会研究指定校

羽村市教育委員会では、例年、市内の小・中学校2校を羽村市教育委員会研究指定校として指に組みます。

2年間で研究期間とし、2年目には市内小・中学校の全ての教員を対象に研究発表会を行い、令和7年度は、羽村西小学校(指定2年目)と富士見小学校(指定1年目)が、それぞれ研究に取

1. 羽村西小学校の児童の実態

研究を進めるに当たり、羽村西小の児童の実態を把握しました。国の調査の結果などから、次のような羽村西小の児童の姿が見えてきました。

【児童の実態】

- 児童同士で交流しながら学習を進めることに意欲的である。
- 学習目標を決めたり、学習計画を立てたりすることに課題がある。
- 授業で1人1台端末を効果的に活用することに課題がある。



2. 育ってほしい児童の姿

「1」で整理した児童の姿を基に、羽村西小では、「育ってほしい児童の姿」を次のように設定しました。

【育ってほしい児童の姿】

「自ら課題を設定し、学習方法を決め、粘り強く学習に取り組む児童」

これは、各教科等の学習において、児童一人一人が自分の興味・関心のある課題を決め、学習の計画を立て、1人1台端末の活用も含めて調べ方やまとめ方を自分で考えながら学習を進めていけるようになることを目指すものです。



3. 研究テーマ

「2」の「育ってほしい児童の姿」を実現することを目標として、研究テーマを設定しました。

《研究テーマ》

**自らの学びを調整し、主体的に学習に取り組む児童の育成
～『自由進度学習』の実践を通して～**

「自らの学びを調整」とは、どのように学習を進めていくかを自分で考えるということです。

「主体的に学習に取り組む」とは、何をすべきかを自分で判断し、進んで学習に取り組んでいくことを指します。

そのような児童を育成するための手立てとして、羽村西小では、「自由進度学習」を研究に取り入れることとしました。

「自由進度学習」とは、教師が全児童に対して一斉に行う授業形式ではなく、与えられた時間の中で、児童一人一人が自分で決めた方法やペースで学習を進めていく形式のことです。

様々な教科の学習の中に、この「自由進度学習」を部分的に取り入れていくことで、研究テーマに掲げる「自らの学びを調整し、主体的に学習に取り組む児童」を育てていくことができると考えました。

研究の成果は、市内の全小・中学校に共有し、様々な教育活動の参考としています

～学校施設の整備状況紹介～ **小作台小学校 体育館の改修工事を行いました**

防衛省交付金を活用し、小作台小学校の体育館改修工事を実施しました。

体育館の主な工事内容は床改修、屋上防水、外壁改修などです。

市では、老朽化している各学校の施設状況を確認しながら工事や修繕を計画的に進めていきます。



【問合せ】 生涯学習総務課総務係(内線353)

「プリモライブラリーはむら」から

国立国会図書館デジタルコレクションが、

利用できるようになりました

「昔の本を読みたい。」「もう手に入らない資料を探したい。」…そのようなときに心強いのが、国立国会図書館デジタルコレクションです。これは、国立国会図書館が所蔵する一般の図書、明治以降の貴重書や明治以降に発行された雑誌、博士論文等をデジタル化し、多くの人が利用できるようにしたサービスです。

① 図書館向けデジタル化資料サービス

個人で登録し、インターネットで自宅から閲覧できる資料もあります。公開されていないデジタル化資料のうち、絶版などの理由で入手困難な資料については、図書館で閲覧ができます。自宅で「続きが読めない。」「途中でしか表示されない。」といった資料がありましたら、ぜひ利用してください。

② 遠隔複写サービス

「このページだけ手元に欲しい。」…そのようなときは、遠隔複写サービスが利用できます。国立国会図書館にある資料の必要な部分を、図書館でコピーすることができ、遠くまで出掛けなくても調べものが進みます。「昔の資料だから無理かも…」と思うような本でも、図書館を通すことで利用できる場合があります。

③ 図書館間の貸出

デジタルで資料を見付けたあと、「やっぱり本そのものを読みたい。」と思うこともあるでしょう。そのような時は図書館同士で本を貸し借りする仕組みを利用して、都立又は他市町村の図書館から資料を取り寄せることができます。※国立国会図書館にしか所蔵がない資料については、館内閲覧のみの利用となります。

「調べものがあるとき」だけでなく、「ちょっと気になる。」「昔の本をのぞいてみたい。」というときにも、ぜひ図書館で国立国会図書館デジタルコレクションを活用してください。

【問合せ】 図書館 ☎ 554-2280

「郷土博物館」から

トピック 羽村の文豪「中里介山」⑥ 45歳～59歳

最終回

中里介山は、羽村出身の作家で、長編時代小説「大菩薩峠」が代表作として知られています。昨年(2025年)、生誕140周年を迎えた中里介山について、紹介します。

羽村へ戻る

奥多摩で草庵生活を送っていた中里介山は、昭和3年(1928年)から草庵や道場の撤去、又は移築を進め、生まれ故郷である羽村へ戻ります。

昭和5年(1930年)には、現在の介山公園(羽東一丁目47番地22外)付近に西隣村塾と大菩薩峠記念館を開館します。同敷地内には介山が書齋として使用した耕書堂も建てられました。西隣村塾では、吉田松陰が開いた松下村塾にならい、介山が理想とする塾教育を行いました。約2か月で閉鎖となりました。その後、昭和10年(1935年)には隣人少年日曜学校を開設し、卒業生を輩出しています。

大菩薩峠記念館には、西隣図書館という図書館が併設されていたほか、印刷設備も有しており、「隣人之友」などの出版物を発行しました。

中里介山、羽村に眠る

昭和19年(1944年)4月4日、介山は59歳の誕生日を迎えますが、この頃に高熱などの体調不良が続き、同年4月22日に阿伎留病院(現公立阿伎留医療センター)に入院します。その後も体調は快復せず、同年4月28日、午前8時15分に腸チフスのため永眠しました。

市内の禅林寺墓地に中里介山の墓があります。



▶大菩薩峠記念館前の介山と愛犬(デン公 昭和18年頃)

【問合せ】 郷土博物館

☎ 558-2561

「プリモホール ゆとろぎ」から

【問合せ】生涯学習推進課 ☎570-0707

人づくり・つながりづくり・地域づくりを支える
「社会教育士」「生涯学習コーディネーター」を紹介します

災害への備え、子供や若者の居場所など、私たちのまちや暮らしにある課題を解決し続けていくためには、多くの人々が協働しながら、これまでの経験や学んだ成果を生かし、地域活動や市民活動を豊かにしていくことが求められています。令和2年度から、地域の人たちとの学びの機会や、新たな人との出会いやつながりをつくる中核的な役割を果たす専門人材「社会教育士」の制度ができました。

「社会教育士」は、フアシリテーション能力やコーディネーター能力を高め、「学び」のスキルやノウハウを体系的に身に付けるものです。文部科学省から委嘱を受けた実施機関が行う講習の修了、又は養成課程を置く大学で必要単位を修得することで、称号を取得することができます。

また、社会全体で多様な学習機会を創出するため、人と情報、人と資源を結び付ける「生涯学習コーディネーター」の資格もあります。「生涯学習コーディネーター」は、文部科学省が認定する社会通信教育を修了することなどで資格取得することができます。

豊かな地域づくり、まちづくりのために、「社会教育士」や「生涯学習コーディネーター」の活躍が期待されます。詳しくは、市公式サイトや文部科学省のサイトを御覧ください。



▲市公式サイト



社会教育士

ゆとろぎステージ体験 「大ホールでスタインウェイとともに」

ゆとろぎ大ホールの舞台上でピアノを演奏できるステージ体験企画。スタインウェイD274を使用して、リサイタル気分、仲間と一緒にコーラスやアンサンブルをお楽しみください。

日時：4月24日(金)午後1時～午後8時
 4月25日(土)午前10時～午後8時

(ただし、正午～午後1時及び午後5時～午後6時は休憩時間とする。)
 1区分30分間(使用区分内に準備、片付け時間を含む。)

会場：ゆとろぎ大ホール

対象：小学生以上のピアノ演奏家、学習者、愛好家及びピアノの演奏を中心としたグループで、本企画主旨に賛同し、注意事項を守っていただける方

※未就学児は参加できません。
 ※小中学生の参加は、保護者同伴でお願いします。
 参加費：1区分(30分間) 2,000円(連続2区分まで申込可能)

申込方法：ゆとろぎ窓口、又は左記の申込フォーム
 演奏形態：個人、又はグループでピアノのソロ演奏及び他の楽器、声楽、コーラスとの共演等、ピアノを使用すればどんなジャンルの演奏も可。ただし、音響設備、電源を使用する楽器の使用は不可。

申込期間：2月17日(火)～3月15日(日)
 ※応募者多数の場合は調整の上、連絡いたします。

★注意事項やその他詳細は、公式サイトやチラシ裏面を御確認ください。



▲申込フォーム

教育随想

今年は、冬季オリンピック・パラリンピック、WBC、FIFAワールドカップといった世界的なスポーツの祭典が立て続けに開催される、まさにスポーツイヤーと言えるでしょう。中でも私が期待を寄せているのが、今月開催されるWBC(ワールド・ベースボール・クラシック)です。前回大会では、コロナ禍の閉塞感が残る中、日本代表が強豪国を次々と打ち破り、決勝の舞台で強敵アメリカを相手に劇的な勝利をつかみ取りました。必死に白球を追う彼らの姿が、沈みがちな社会に大きな勇気と希望を灯したことは、昨日のこのように思い出されます。

野球というスポーツの最大の魅力は、その「不完全さ」にあると私は考えています。野球は、一流の証とされる打率3割という数字が示すとおり、10回のうち7回は失敗することを前提とした競技です。成功よりも圧倒的に多い失敗をどう受け止め、いかにして次のプレーへつなげるか。そこには強い精神力と、冷静な自己修正能力が求められます。私自身、小学生の頃に野球を始め、現在は草野球を楽しんでいます。失敗との付き合い方がとても難しいスポーツだと感じています。

今回の大会も単なる勝敗を超えた多くの学びを私たちに与えてくれるはず。私たちの日常も、野球の打席と同じように、常に安打を放てるわけではありません。大切なのは失敗しても何度でも打席に立ち続ける意志の強さです。選手たちの勇姿を単なる娯楽として消費するのではなく、自身の生き方の糧にできるよう観戦したいと思えます。



教育委員会委員

堀口 勝也

特定非営利活動法人羽村市スポーツ協会及び羽村市文化協会は、市や教育委員会と協働して、市のスポーツや文化を推進していくための団体です。

特定非営利活動法人

羽村市スポーツ協会

TEL 555-11698

加盟団体の紹介⑧ 羽村市テニス連盟

テニスを通じた会員相互の親睦と、技術向上及び体力の維持増進を図ることを目的として、昭和47年に「羽村町硬式テニスクラブ」を発足し、昭和50年に「羽村町体育協会」に加盟しました。発足時は会員数32人でしたが、テニスブームとなった昭和54年に161人となり、現在は「羽村市テニス連盟」として100人弱で活動しています。

テニスブームを経験した世代の高齢化と健康志向の高まりに合わせて、羽村市でもシニア層のテニス人口が増加しています。平成25年からは、東京都スポーツ協会の「シニアスポーツ振興事業」助成金を活用し、60歳以上を対象に、プロコーチによる技術練習会を開催しています。また、平成28年からは、羽村市総合スポーツ大会で、ペアの合計年齢130歳以上を対象としたグラウンドシニアクラスを設け、多数のペアが参加しています。

ジュニア部門においても、平成26年から東京都スポーツ協会の「ジュニア育成地域推進事業」助成金を活用し、小学生から高校生までを対象にプロコーチによる強化練習会を開催しています。令和4年からは、羽村市総合スポーツ大会にジュニアクラスを追加し、強化練習会の成果を発揮する場として参加者の励みになっています。

引き続き、テニス連盟の活動により、羽村市の推進するスポーツを通じた健康づくり、まちづくりへ貢献してまいります。



▲シニアテニス技術講習会参加者の皆さん

羽村市文化協会

TEL 579-2772

日頃から文化協会活動について、御支援、御協力を賜りましてありがとうございます。

昨年は、5月に「第19回美術・工芸展」、10月に「未来へつなごう 羽村の文化」をテーマとして第56回羽村市文化祭を開催しました。文化祭では、文化協会創立20周年、プリモホールゆとろぎ開館20周年を迎え、その歩みを祝し、世代を超えた交流と感動が広がる特別企画ステージとなりました。

また、1月に「ゆとろぎでお正月を遊ぼう」の協力、文化協会洋舞の部の発表会「ハワイアンフェスティバル」、2月に、文化協会会員による「みぢかな一歩展」、「初めの一歩体験教室」、さらに、サロンコンサートなど発表する場の提供、支援を推進しました。

今後も羽村市や皆さんと協力しながら、羽村の芸術、文化を推進して参ります。

3月イベントのお知らせ

ゆとろぎ開館20周年特別記念事業

「生涯学習祭」

様々なジャンルの団体が一堂に会し、それぞれの活動を見学、体験することができます。

日時 3月21日(土)午前10時～午後3時30分

会場 ゆとろぎ館内各部屋(一部除く)

主催 羽村市教育委員会

協力 羽村市文化協会

令和8年度イベント等の予定

5月上旬 第57回文化祭説明会

※詳細は、広報はむら、市公式サイトにてお知らせいたします。

5月23日(土) 文化協会総会、サロンコンサート

5月12日(火)～6月14日(日) 第20回美術・工芸展(5期)

10月11日(日)～11月3日(火・祝) 第57回文化祭

(後援事業として、ホール発表、展示発表を実施)



◀詳しくはこちらから(市公式サイト)

「はむらの教育」を御覧になった意見・感想をお聞かせください

掲載内容の充実を図ることを目的として、御覧になった意見や感想をお聞かせください。掲載した意見等は、今後の紙面作りの参考とさせていただきます。



◀意見等の入力フォーム

INFORMATION

プリモホールゆとろぎ	Tel 570-0707	羽村東小学校	Tel 554-5663	武蔵野小学校	Tel 555-6904
プリモライブラリーはむら(図書館)	Tel 554-2280	羽村西小学校	Tel 554-2034	羽村第一中学校	Tel 554-2012
郷土博物館	Tel 558-2561	富士見小学校	Tel 554-6449	羽村第二中学校	Tel 554-2041
S&Dスポーツアリーナ羽村(スポーツセンター)	Tel 555-0033	栄小学校	Tel 554-2024	羽村第三中学校	Tel 555-5131
S&Dスポーツアリーナ羽村(スイミングセンター)	Tel 579-3210	松林小学校	Tel 554-7800	教育相談室	Tel 090-5258-1223 090-1406-1223
弓道場	Tel 555-9255	小作台小学校	Tel 554-1431	適応指導教室 ハーモニースクール・はむら	Tel 090-3237-1331

羽村市役所(代表)

Tel 555-1111